

## 令和3年度大阪府立八尾支援学校 第2回学校運営協議会報告

□日時 令和3年12月1日(水) 10:00~12:00

□場所 大阪府立八尾支援学校 図書室

□出席者 ◆委員5名、校長、准校長、事務局10名、教務部長1名 計18名  
◆傍聴者4名

□次第と協議内容(要約)

### ○校長あいさつ

- ・昨年はできなかった学習発表会を先日実施できた。行事を通じて児童生徒の成長を見ることができるとともに、教師の力量のみせどころでもあった。
- ・昨年今年と新型コロナウイルス感染症により例年どおりにはいかないことも多々あるが、教育活動において大切なことを考える機会にもなっている。
- ・新学習指導要領に基づいた授業(より主体的な授業)をめざして授業改善に取り組んでいる。iPadの台数の確保などICT環境の整備を行い、授業での活用を進めている。キャリア教育においては、小中高のつながり(指導の一貫性)を重視しながら推進している。

### ○授業見学1

- ・中学部2年「職業1班」
- ・小学部4年「生活」

### ○報告

#### ①令和4年度使用教科用図書の選定

- ・各部教科会などを通じて、シラバス、児童生徒の実態にそった図書の選定になるよう取り組んでいる。

**小学部**：主に一般図書より選定。イラストや写真が多く掲載された図書などを選んでいる。

**中学部**：一般図書や星本など、生徒の実態に合わせて幅広く選定を行っている。

**高等部**：マナーに関する図書の選定など職業を意識したものなどを取り入れている。

#### ②2学期授業アンケート結果について

全学部通じて概ね良好な評価を保護者より頂いているが、今後も授業力向上に努めていく必要がある。

#### ③令和3年度実働防災について

次年度は早い時期に応急処置訓練を行い、その後の実働防災訓練につなげる。

### ○授業見学2

- ・小学部4年「体育」

### ○授業見学3

- ・高等部2年「職業」

### <質疑応答・意見・感想等>

#### **意見・感想**

- ・小学部の授業見学では、はばたき園に通っていた児童がいて懐かしく見させていただいた。体育の鉄

棒がうまくできなくて何度もチャレンジする姿に成長を感じた。

- ・我が子は中学部から本校に通っているのですが、今日の授業見学を通じて小学部の様子を知ることができてよかった。授業を見ていると、教員によって児童生徒への言葉がけの多さや言葉のかけ方に違いがあった。児童生徒が意欲的に取り組める言葉がけ、取り組みを続けていただきたい。
- ・各学部の特徴がみられた。小学部は教員も児童と一緒に盛上げて授業づくりを行っていた。クラスや集団での取り組みの良さを感じた。
- ・職業教育を身近なところで実践しているということを知ることができた。今後も就労に向けた取り組みを続けてほしい。
- ・小学部の児童は、思いのまま楽しそうに授業を受けていた。中学部・高等部の「職業」の授業では、生徒が集中して取り組んでいた。職業教育といってもねらいはさまざま。ハードスキル、ソフトスキルとあるが、本日の授業はハードスキルを重視していた印象を受けた。
- ・教員の言葉がけの力量に差があるように感じた。タイミングや話すスピードなど。小学部の「体育」の授業での言葉がけはとてもよかったように思う。高等部での、「〇〇さんは△△が得意なので、◆◆の役割をしているよ」といった言葉がけもとてもよかった。よいことを具体的に言語化していくことが大切だと思う。こういったことができていない教員とそうでない教員がいる。全体で共有してほしい。
- ・授業の中で、ICTを使った振り返りの場面があり、よい取り組みだと感じた。
- ・作業所の現場では立ち仕事が多い。（就労に向けた実践的な取り組みのために）それに適した机などもあるとよいと思った。
- ・子どもたちが主体的に学ぶために、手順書を示すなどの工夫がもっとあるとよい。

#### ご質問およびご回答等

Q：授業アンケートは授業参観に来られた保護者を対象としているのか。参観していない家庭への聞き取りも必要だと思う。

A：授業アンケートは参観に来られた保護者にのみ配布している。教員の授業力向上をめざすことを目的としている。学校全体への要望などは、「学校教育自己診断アンケート」を通じて学校に対する保護者・生徒（一部）・教員の評価、聞き取りを行っている。また、学校運営協議会への意見書を通じて聞き取りを行っている。今年度はまだ意見書を出していないが、近日中に保護者への案内を行う予定。

Q：授業参観で見てもらえない教員の授業評価はどうしているのか？

A：管理職が年間2回（最低1回）、教員一人一人の授業を見学し、評価している。しかしながら、チームティーチングを主とする支援学校では、教員一人ひとりの評価が見えにくいことが課題でもある。

Q：教科書の内容が子どもにとって“ちょっと難しいのでは？”と思うものがあつた（道徳など）。どのように活用しているのか。また、購入時の帯がついたまま教科書を持って帰ってくるものがあつた。学校で教科書を使う機会はあるのか。

A：教科書の全ての内容をそのままを活用することは難しいので、内容を解きほぐしたり教材を工夫したりして指導を行っている。

○准校長あいさつ

○閉会